

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年3月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年2月21日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	クーフシュタイン・チロール応用科学大学(日本語名) Facchochschule Kufstein Tirol(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/英語
留学期間	2023年9月～2024年2月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 専門大学
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 3月上旬～7月下旬 2学期: 10月上旬～2月下旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	2200
創立年	1997

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (€)	日本円	備考
授業料		円	交換留学なので払っていません。
宿舍費	3,568	547,336 円	送金手数料込み・5ヶ月分の家賃
食費	300€/month	240,000 円	スーパーの物価自体は高くないですが、 外食する際はランチでも 2,000 円ほどか かるので自炊メインでした。
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	10€/month	8,000 円	現地で購入したプリペイド SIM カードを利用 していました。
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	70	11,200 円	フィールドトリップがある授業の交通費や 入場料など
被服費		円	
医療費		円	
保険費		50,395 円	形態: 明治大学で加入した 5ヶ月プラン
渡航旅費		190,000 円	往復の値段です。
ビザ申請費		円	ビザは申請していません。
雑費	1,000	160,000 円	旅行費
その他	30	4,800 円	イベントなどを企画してくれている学内機 関に入会費を払う必要があります。(全生 徒必須)
その他		円	
合計	4,948	1,211,731 円	1€=160 円換算で計算しています。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地: 東京・成田 目的地: オーストリア・ザルツブルク 経由地: UAE・ドバイ

復路 出発地: オーストリア・ザルツブルク 目的地: 東京・成田 経由地: UAE・ドバイ

渡航費用

- ① 往復チケットを購入した場合
航空会社: Emirates 航空

料金: 約 19 万

- ② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:

航空券購入方法

- 旅行代理店(店名:)
- インターネット(サイト名: Emirates 航空公式)
- その他()

滞在形態関連

- 1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前: International Student Residence) アパート ホームステイ

- 2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

- 3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

- 4) 住居を探した方法:

明治大学の国際事務室経由で寮の申し込み URL をいただいて、そこから申し込んだ。すぐに埋まってしまうため、応募が開始したら即座に取り掛かることをおすすめします。

- 5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は新築の階に住んでいたの、床暖まで付いており、冬でも暖かく過ごせてとても快適でした。窓は網戸が付いていないので虫が入ってきやすいですが、ゴキブリなどの大きな虫を警戒する必要がない点がストレスフリーでした。また、友人との部屋の行き来がしやすいため、とてもおすすめです。一階には住人で集まれるスペースもあり、一緒に料理をしたり、誕生日パーティーを開催したりしていました。ただ、部屋によっては換気扇が役割を果たしておらず、火災報知器が鳴りやすいので細心の注意が必要です。火災報知器を鳴らすと 100€取られます。洗濯機は毎回 1€(50 セント × 2枚)かかるので、銀行でコインに両替してもらおうと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 入寮してすぐにダニに数カ所刺されました。幸いコジラミではなかったのですが、寮から借りたベッドシーツが原因だったようなので、もらったその日に洗濯することをおすすめします。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅行を計画する際には必ず SNS やニュース、宿泊しようとしている町の治安などを検索していました。実際、事件が起きたニュースを見てパリ旅行を二度断念したので、情報収集は怠らない方がいいと思います。クーフシュタインは夜にも一人で歩ける程治安の良い町でしたが、旅行先では盗難がどこでも起こりうると聞いていたので、スマホや財布用のストラップを着用し、なるべく肩掛けカバンは上着の中にしまっていました。友人がスマホで地図を見ていただけですられたそうなので、気を付けてください。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校と寮のインターネットは非常に安定していました。携帯に関して、主な SIM カードは EU 圏内全てで使えるため、旅行に行く際にも変える必要はありませんでしたが、国境を超えるとネットワークが不安定になることがあります。また、お隣のスイスは EU に加入していないので、SIM カードの許容地域に含まれていないことが主流です。旅行をする際に携帯が使えないと乗車券や航空券が出せないので注意が必要です。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地では銀行口座を開設しなくても不自由はなかったです。学校に送金しなければならない機会がありますが、オフィスに手渡しすることも出来るので大丈夫です。現金は、空港や現地で換金すると大幅な手数料がかかるので、日本(大黒屋など)で換金していくことをおすすめします。私は 10 万円分(当時 620€分)持って行きましたが、友人と割り勘する時に使えたり、現金支払いのみのレストランやホテルのチップ用にちょうど良かったと思います。ですが、基本はクレジットカードで支払いしていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本の調味料は隣の国を跨いで調達することになるので持っていくべきです。(おすすめ: にんにく・生姜チューブ、コンソメの素、鶏ガラスープの素、料理酒、みりん、ごま油など) また、パスタソースや袋麺、お茶漬、インスタント味噌汁、鍋の素など、大量に持っているとうれし感があります。その他には、コバエホイホイ・仲良くなる戦利品として友人用の日本のお菓子・カイロ・洗濯用ネットやピンチハンガー・ルーズリーフ(オーストリアは高い)・しゃもじなども持っていくといいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:まだ申請していませんが、1授業で2単位もらえると思います。)	
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:7科目以上10科目以下が選べます。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
German Language (Beginner level)	ドイツ語(初心者レベル)
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が15回
担当教授	Fuchs Angelika
授業内容	現地の公用語であるドイツ語のクラスです。最初から文法を勉強するのではなく、挨拶から始まり、名前・出身・年齢の聞き方答え方、家族の名称など、使えるフレーズを学習していく上で文法も理解できるようになるという形式です。
試験・課題等	2週間に一度小テストがあり、期末テストはありません。
感想を自由記入	ドイツ語を習ったことがない生徒が多いので、同じレベル感で新しい言語を習得することが出来ます。現地で生活する上で、スーパーや地図を使う際に大いに役立ちました。



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Austrian Culture and History	オーストリアの文化と歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture&Excursion(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に(授業によって変わります)分が5回
担当教授	Rainer Michael
授業内容	毎週土曜日に校外学習をし、オーストリアの文化と歴史を学ぶという授業です。朝から夕方まで授業がある日もある為、全五回のみでの授業となっており、一回目はクーフシュタイン、二回目はインスブルク、三回目はザルツブルクに足を運び、様々なミュージアムや教会を訪ねました。お昼は自由行動なので、友達とご飯を食べられます。オリエンテーションの日に70€を支払い、その中にバス代や入館料金が含まれていました。
試験・課題等	期末テスト(選択式問題)・歴史人物のプレゼンテーション
感想を自由記入	この授業は友達を作りやすい&単位が取りやすいので履修することをお勧めします。校外学習では3つの町を見て周るのですが、目や耳で歴史を学ぶことが出来るので飽きないです。プレゼンテーションでは、教授が分けたグループメンバーで、オーストリアで主要な歴史人物を調べて発表します。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cross Cultural Management	異文化マネジメント
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に255分が6回
担当教授	Romanelli Mark
授業内容	国際ビジネスを行う際の文化的意識の問題を理解することが出来ます。異文化理解を深める為、ホフステッドの6次元モデルなどの国民文化を調べて母国の国民性を数値化し、他の学生と比べるという留学ならではの授業です。
試験・課題等	毎回課題あり・プレゼンテーション2回・期末テスト(記述メイン)
感想を自由記入	課題・プレゼン・期末テストの重みがすごかったので、受講した授業の中では一番きつかったです。ですが、社会人になってからも役立ちそうな内容で面白いので、おすすめします。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Economics: Trade & Finance	国際経済学: 貿易と金融
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が15回
担当教授	Zenevitch Vladimir
授業内容	国際貿易における様々なモデルや政策、マクロ経済学について学びます。
試験・課題等	レポート・口頭試験・筆記試験の三つの選択肢から一つ選べますが、全生徒がレポートを選んでいました。
感想を自由記入	配布されるスライド通りに授業が進むので、貿易や金融について知識のなかった私でも安心して受講出来ました。おじいちゃん先生で、喋るスピードがものすごくゆっくりなので、他の授業に比べて聞き取りやすいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Trends in Consumer Behavior	消費者行動のトレンド
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に255分が6回
担当教授	Kampfer Kristina
授業内容	初回の授業では顧客の購買意欲はどのような心理のもとで働いているのかということ、物を買うときのプロセスを追いながら講義とディスカッションを通して学びます。それ以降は、自由に組んだグループのメンバーと一緒にオーストリア発祥のブランドを一つ選び、そこに向けたマーケティング案を考えます。
試験・課題等	プレゼンテーション・毎回の課題
感想を自由記入	初回の授業中に40分間時間が与えられ、「今から好きなものを買ってきていいから、それを買った理由を考えながら戻ってきてください。」というお題が出され、購買意欲について実践的な学びが得られたのが面白かったです。世界におけるマーケティングのトレンドを学び、それをオーストリアのブランドに昇華させて戦略を考えるのも楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing and Brand Management	マーケティングとブランド経営学
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に255分が6回
担当教授	Kampfer Kristina
授業内容	マーケティングの基礎から学び、グループワークで自分たちのブランドアイデアを作ります。私のグループは洗車のサブスクライブを商品とすることにしました。毎回の授業でマーケティングにおいて欠かせない要素を学び、それを反映させてブランドを完成させるという進め方です。
試験・課題等	プレゼンテーション・毎回の課題
感想を自由記入	自分たちオリジナルのサービスや商品を考え、ブランドロゴから指針、値段、市場など、一から自分たちで作るので面白いです。多国籍メンバーとグループを組んだので、出てくるアイデアの視点が興味深いものばかりでした。プレゼンテーションや課題の為に、授業外で集まった回数が一番多かったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The "Me Brand" - Influencing factor for your career	
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023w
単位数	3ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	Lecture(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に255分が6回
担当教授	Wollmann Bernd
授業内容	企業のどの要素がブランド力を形成するのかということを講義や動画を通して学び、それを元に自分自身だけの価値/ブランドを見つけるという内容です。最後のプレゼンテーションでは、自分をブランド化し、スライド・動画など、好きなコンテンツで自分ブランドを紹介するという独特なキャリア教育のようなものです。
試験・課題等	プレゼンテーション
感想を自由記入	私は自分の過去の人生とこれから歩みたいキャリアを動画にして発表しましたが、生徒それぞれ個性の溢れる発表をしていてとても興味深かったです。初回の授業があったから2ヶ月開いて2回目の授業があるというスケジュールでした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

現在、就職活動真っ只中です。(2024年3月)

希望する業界は

・文具メーカー

・電機メーカー

など、グローバルに展開しており、有形商材を扱っている企業を見えています。

グローバルに働きたいという想いはありますが、メーカーに新卒で入社した場合、すぐに海外事業に関われることは稀なので、国内向けの営業や企画でキャリアを積んでから海外事業に携わりたいと考えています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3年生の秋学期から留学だった為、留学直前まで、当時志望していた企業の夏のインターンシップにいくつか参加していました。OB・OG 訪問はオンラインでも出来るので、焦る必要はないと思います。留学先に Web テストの問題集や TOEIC の教材、就活関連の参考書(自己分析や ES 対策用)は何冊か持って行きました。同い年の日本人が二人いたので、一緒に SPI の問題集を解いたり ES の添削をしたり、就活に対する意識を高め合える環境でした。冬のインターンシップや説明会もオンラインのものには極力参加していましたが、時差があり、深夜に起きてスーツを着るという苦しい時も何度かありました。体調を崩さない程度に頑張っ、あとは帰国後の本選考から頑張るのも十分間に合うと思います。留学先での勉強や行事、旅行、友人との思い出作りはその時しか経験できないことなので、メリハリを付けつつ、是非そちらを優先して欲しいです!

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFLの勉強
	8月～9月	TOEFL(二度チャレンジしました)
	10月～12月	IELTS・出願&選考
留学開始年	1月～3月	一次選考落選・二次選考通過→すぐに滞在先確保&航空券購入
	4月～7月	留学準備・就活
	8月～9月	入寮、オリエンテーション、住民登録等の事務手続き
	10月～12月	冬学期
留学/帰国年	1月～3月	期末試験(科目によっては12月)
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

正直、クーフシュタイン・チロル応用科学大学は第一志望ではなく、むしろ一次募集の段階では志望していなかった大学です。私は学内応募のために提出する留学計画書の時点で軸がブレブレで、面接官の方に「何がしたいのか見えてこない。」と言われた身なので、二次募集でやっとの思いで決まった留学先がオーストリアでした。なので、もしまだ留学計画書を提出する前にこれを見ている方がいらっしゃった場合、本当に留学したい目的は何なのか。そのために行くべき大学・国・学ぶべき科目を明確にして、後悔のない選択にして欲しいです。話がずれてしまいましたが、私が二次募集でオーストリアのクーフシュタイン・チロル応用科学大学を選んだ理由は、7 カ国に囲まれ、豊かな文化と歴史に溢れる国であることと、“応用科学大学”というビジネス系の専門大学で、机上の学修だけではない、実践的な学問を学ぶことができると思ったからです。

留学生活では、クーフシュタイン自体がこじんまりした町でコミュニティが広すぎないため、都会にある大学に比べると、留学生同士で仲良くなりやすい環境です。大学の学内機関が留学生のためのイベントを年がら年中企画してくれるので、手厚いサポートがあるなど実感しました。また、最初は田舎を思い浮かべて不便さを危惧していましたが、寮の周りには大型スーパーを含めて5つのスーパーや日常雑貨屋、ドラッグストアがあるなど、とても暮らしやすいです。治安はとても良く、暗い夜道を一人で歩けるほど平穏な町です。土日はハイキングをしたり、スキーをしたりしている学生もいれば、電車や飛行機を使って他の国に旅行をしに行ったり、クリスマスマーケット巡りをしたりなど、東京にいる時には味わえなかった休日の過ごし方をしました。日曜日は全てのスーパーが閉まってしまう(一部レストランは空いている)ので、あまり外出はしなかったですが、一階の共用ルームで友人と料理をしたり UNO をしたり、交流の場がすぐそこにあるのが魅力的でした。

学校は図書館サイズなのではないかと思う程小さいですが、設備はしっかりしていて、自習やグループワークをできるスペースもたくさんあるので気に入っていました。学食は7ユーロ(¥1,120)と少々高めなので、たまにしか食べていませんでしたが、毎日メニューが変わり、大学のアプリでチェックできるので試してみてください。授業は毎週固定の時間にあるものもありましたが、月に1~3回×4時間授業といったようなスケジュールが主流でした。それも大学のアプリで自分専用の授業カレンダーがあるので、それを参考にプライベートの予定を組んでいました。4時間授業の科目はグループワークが多く、その分毎週課題があるものが多かった印象です。アルバイトなどに追われない環境だったので、その分勉強に十分な時間を割くことができました。

外食や食べ物についてですが、クーフシュタインでの外食は本当に高いです。なので自炊がメインの生活をしていました。一応アジアレストランは3店舗ほどありますが、やはり高いので、自分で日本から調味料を持っていか、Rosenhiemというクーフシュタインから電車で30分のドイツの町に大きなアジアスーパー“go asia Supermarkt”があるので、そこで調達することをおすすめします。Muenchenというクーフシュタインから電車で1時間の町にも大きめのアジアスーパー“ORIENT SHOP”があり、そこもおすすめです。ちなみに、日本人に欠かせない豚バラの薄切りはヨーロッパには売っていないので、ウィーンに行く機会があったら、その日本食材店で買うことをおすすめします。

旅行に関してですが、私の場合一度しか飛行機を使わずに9カ国まわることができました。クーフシュタインは電車の便が良く、ミュンヘンやウィーン、チューリッヒやヴェローナが直通なので、乗り換えを繰り返せば安い値段で旅行をすることが可能です。私がおすすめしたい電車のチケットはEurail PassとDeutschlandticketです。Eurail Passは国籍がヨーロッパ圏ではない人が買えるヨーロッパの特急電車乗り放題の券です。4日間(期間:1ヶ月)のものから15日間(期間:2ヶ月)のものなどを選んで、一日中乗り換えし放題なので、これを使って隣国や二つ跨いだ先のフランスまで旅行をしたりと、有効活用していました。Deutschlandticketは、ドイツの電車が乗り放題のチケットなので、本場のクリスマスマーケットをまわりたいという方にはおすすめです。

